

## 県内でべと病、黒斑病・葉枯病の発生が広く見られます。

## 発生状況に応じた防除に努めましょう。

### 現在の状況

- 1 べと病は、8月上旬の巡回調査で発生圃場率が80%（平年12.3%）と平年よりも高かった（図1）。
- 2 黒斑病・葉枯病は、8月上旬の巡回調査で発生圃場率が100%（平年62.3%）と平年よりも高かった（図2）。

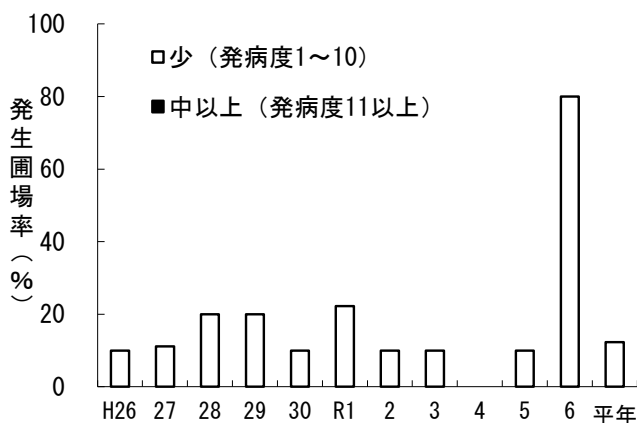


図1 べと病の発生圃場率（8月上旬）

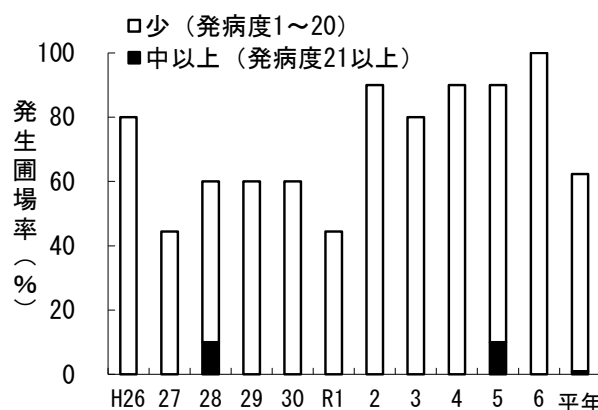


図2 黒斑病・葉枯病の発生圃場率（8月上旬）

### 防除対策

#### 1 べと病

- (1) 気温が低下する8月後半以降に発生が増加するので、定期的な防除を行う。
- (2) 降雨が続くと発生が助長されるので、薬剤散布は降雨前に行う。
- (3) べと病の病斑には葉枯病（褐色斑点病斑、黄色斑紋病斑）が二次的に感染するため、予防散布に努める。

#### 2 黒斑病、葉枯病

- (1) 降雨が続くとこれらの病害の発生が助長されるので、定期的な防除を行う。
- (2) さび病やべと病の病斑に二次的に感染するため、これらの病害にも効果のある薬剤を選択する。
- (3) 肥料切れすると発病しやすいので、適切な肥培管理に努める。
- (4) 葉枯病は、ネギハモグリバエの食害痕上に二次的に感染している事例が確認されているため、栽培期間を通してネギハモグリバエの防除を徹底する（R2-2病害虫防除技術情報参照）。

#### 【利用上の注意】

- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際は(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL:0197(68)4427 FAX:0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

アドレス <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/2003279/index.html>

